

平成 1 8 年度 小学校教育課程研究協議会

富山ブロック 総合的な学習の時間部会資料

1 ブロック研究主題

自ら課題を見つけ、主体的に追究し、自分の生き方を考えていこうとする子供の育成を目指して

2 研究の内容

(1) 子供が主体的に追究できる単元構想

目指す子供像に基づく年間指導計画の見直し
 単元を通して身に付けたい資質や能力と教科等との関連の図り方
 地域の自然や社会環境、学校の特色や児童の実態を生かした単元構想
 子供の思いや願いが生きる学びがいのある教材の選定

(2) 子供の追究を支える学習過程

切実感のある課題を生むための体験活動や話し合いの場のもち方
 教師間の協働体制の在り方、地域や関係諸機関との連携の図り方
 追究を広げたり深めたりするための学習環境の整備や学習形態の工夫
 情報の収集、活用、発信を通して視点を広げ、多様な気づきを生み出す場の設定

(3) 追究を見つめる評価

各校で設定した育てたい資質や能力から、単元や活動レベルにまで降ろした評価規準の設定
 自己のよさや高まりを自覚し、自信をもつようにするための子供自身の自己評価や相互評価の方法とその生かし方
 子供のよさや身に付けた力を的確に把握するための方法と学習への生かし方

3 ブロック小教研の活動を充実していくために

- ・ 研究の方向について共通理解を図り、視点を絞って各自の実践資料を持ち寄って協議したり、ワークショップや小グループによる討議を積極的に取り入れたりすることを通して、部員一人一人が授業者と共に学ぶという姿勢で、主体的に研修に取り組んでいくようにする。
- ・ メーリングリストを利用し、授業者からの学習経過報告やそれに関する意見交換はもとより、部員一人一人の日常の取り組みを広く発信し情報交換を行うとともに、各種研究会案内や授業に役立つ情報提供等にも活用を図ることで、部員間の連携を深めるとともに、一人一人の学びが深まるようにする。
- ・ ホームページを通して、ブロック小教研の活動や授業研究に関する情報を発信していく。
- ・ ブロック部長、専門委員、研究推進委員は、部会研修後の運営委員会で、それぞれの部会で協議された内容の報告を受け、次回の研修の進め方について連絡調整をするなど部会の運営に積極的な役割を果たし、充実した部会研修となるように連携に努め、研究の推進を図る。

4 これまでの取り組みと現在の課題

月	研 究 内 容
4	組織編成 授業提案者の決定
5	県の研究計画作成試案の説明及び市の研究計画の検討、昨年度の実践の発表
6	提案授業指導案検討（提案授業の構想説明・意見交換）
8	提案授業指導案検討（教師の支援や評価の在り方についてのワークショップ）

5月は、県の研究計画作成試案を受けた市の研究計画について検討するとともに、昨年度の授業提案者からの実践報告を受けて、今年度の研究の方向について共通理解を図った。そして、6月の事前研究では、提案授業の検討を行い、部員一人一人が日ごろの実践経験をもとに意見交換を行った。さらに、8月には、1学期の学習展開や児童の実態を踏まえ、9月の提案授業に向けて、授業構想の具体化を目指すとともに、教師の支援や評価の在り方についてワークショップを行ったところ、いくつかの課題が焦点化されてきた。（裏面参照）9月の授業では、この点を受けて課題の解明に努めたい。

また、平成18年度県東部研究推進校である富山市立光陽小学校と連携を密に図り、授業研究や研究集会運営において、富山ブロックの部員が全面的に協力・支援をしていきたい。

